

秋晴れの中、「わいわいストリート」が盛況のうちに開催される。

理事(事業部担当)道満俊徳(生環 13期)

10月11日(日)「天高く馬肥ゆる」の形容がピッタリの秋晴れの下、しあわせの村・芝生広場に、約600名の参加者が集い、「わいわいストリート」が盛大に開催された。

この種の親子連れ対象のイベントが、春と夏に2度企画されたが、いずれも雨にたたられ、中止の憂き目を味わった。今回ばかりは絶好の秋日和で、しあわせの村に家族連れで行楽に来られた多くの市民の目にとまり、昔遊び、コマ回し、竹馬、輪投げなどと物珍しさも手伝って、多くの方々に参加していただいた。

「わいわいストリート」は、今はシルバー世代の人たちが子どものときに、普段の遊びの中で楽しんだ“昔遊び”、“木工工作”、“凧づくり”などを、今の世代の親子に伝え、一緒に体験して頂き、物資の豊かでなかった時代に、こんなに多くの楽しい遊びがおこなわれていたということを知り、試す・作る”こと”によって、創造性豊かな情緒教育の一環とし、三世代交流も図るという趣旨のイベントである。

実施を担当して頂いた各部会の方々には、日ごろの力量(スキル)を大いに発揮して頂き、閉会前には事前に準備していた全ての工作材料がなくなってしまうほどの盛会であった。

種々の工作や遊びなどは以下の内容であった。

昔遊び(10種目)

折染め工作・紙ひこうき・紙トンボ・お手玉・けん玉・コマ回し・ぶんぶんこま・折り紙・はねかえる、竹馬

木工工作

動物風船&皿回し遊び

グルンプラ凧作り

輪投げ遊び

どのイベントも若い親子共々、未経験者が多く嬉々として楽しまれていた。昔遊びを始め、種々の遊びが全てエコに繋がる創造性豊かなイベントとの認識も自然に伝わったように思う。多少残念だった

のは、参加者が昨年の2倍近くに達したため、準備していた材料が午後には品切れになってしまうという有様で、ある種の嬉しい悲鳴だった。

### イベントを振り返って

天候に左右される野外イベント難しさを改めて痛感した。

昨年と同様の活動内容であるが、内容は年々、質的に向上している。

好天で参加者が予想外に多かったので、準備していた、全ての諸工作物が、2時には無くなってしまった。準備する量の見積り精度を上げることが、次回開催時の課題である。

開催時間11時~15時であったが工作物が無くなったときの対策として、繰り返しゲームを出来る・竹馬・輪投げ、コマ回し、皿回しなどの種類を増やすべきだった。

イベント担当者はジャンパー、帽子などユニフォームは統一したほうが良かった。

### 総評

予定されていた参加者はもとより、イベントのあることを知らないで、参加された方々にも十分に満足をして頂いた。各担当部署の方々には、ホスピタリティの精神を十分に発揮して頂きました。

次回、さらには次々回と、一層の質的アップを図り、新規企画も取り入れるなどして、より顧客満足度を高めていきたい。



風船細工



コマ回し